



あれから8年・・・放射能は いま No.12 2019.2

# 子どもを放射能にさらす 放射線副読本

放射線被ばくを学習する会 <http://anti-hibaku.cocolog-nifty.com/>



改訂

**復興大臣指示** 2017.12.12  
「関係府省庁は、本戦略に基づき、**風評払拭に政府一体となって取り組む**とともに、より効果的な施策を実施していただきたい。  
本戦略に基づいて、パンフレット、**放射線副読本等の見直し**を行うとともに・・・」



## ●復興大臣指示で、子どもたちに”放射能は安全”と教える放射線副読本

昨年夏まで国公立の小中高校で使われてきた左図の「放射線副読本」は、批判を受けて福島原発事故による住民の被害もそれなりに伝えるものでした。ところが一昨年末、復興庁主導の「タスクフォース」で「風評払拭・リスクコミュニケーション強化戦略」が決定され、ウソ宣伝の『放射線のホント』発行とともに、「放射線副読本」も『放射線のホント』に合わせて書き換えるよう、**復興大臣が指示**しました。「復興第一」色濃厚の改訂です。

## ●”放射能は身の回りにあり、怖くない”と警戒心を解除

「副読本」はまず、身の回りに飛んでいる放射線を霧箱で見せ、「放射線はゼロにできない」、「放射線は役に立つ」と教えます。放射線はどんなに低線量でも遺伝子を壊し、がんなどの健康影響を生じる可能性があること、できるだけ被ばくをさけることなど、警戒心を持たせるのではなく、警戒心をゆるめる恐ろしい教育をしています。

## ●「日本の（食品）基準は、世界で最も厳しいレベル」と教えるトリック！

食品中の放射性物質に関する指標等

(単位:Ba(ベクレル)/Kg)

	日本	EU	米国	コーデックス <sup>9</sup>
放射性セシウム (セシウム 134、 セシウム 137) 10 11	飲料水 10 牛乳 50 乳児用食品 50 一般食品 100	飲料水 1000 乳製品 1000 乳児用食品 400 一般食品 1250	全ての食品 1200	乳児用食品 1000 一般食品 1000
追加線量の上 限設定値 <sup>11</sup>	1mSv	1 mSv	5mSv	1 mSv
放射性物質を 含む食品の割 合の仮定値 <sup>11</sup>	50%	10%	30%	10%

左図の放射能基準値比較で日本は事故翌年からの「平常時」の基準値なのに、外国の値は緊急時のもの。同じ状況で値を比べなければいけないのに、ちがう状況の値を比べて日本の基準を厳しく見せるトリックです。

裏も見てね

(出典)「食品と放射能Q&A(第12版)」(平成30年3月消費者庁)及び「放射線リスクに関する基礎的情報」(復興庁等)より作成